

「総合診療科入院患者の肺炎球菌ワクチン接種率向上の検討。」

へご協力をお願い

—2020年3月1日～2022年2月28日までに当院総合診療科を退院された方へ—

研究機関・研究実施施設名 安房地域医療センター

研究責任者 安房地域医療センター 総合診療科 常石 大輝

■ 研究の意義と目的

65歳以上では肺炎球菌ワクチン接種が推奨されているが、接種対象者の約30%程度しか接種していないという現状がある。これまで医師にワクチン接種の必要性を通知すると接種率が向上することが報告されており、テンプレートの医師指示を用いて医師に通知することで、入院患者というハイリスク患者に対し、接種率を向上できるかどうか検討する。

■ 研究対象

2020年3月1日～2022年2月28日の期間に、安房地域医療センター総合診療科を退院された65歳以上の方を対象としています。

■ 研究実施期間

2021年3月1日～2022年12月31日

■ 研究方法

研究者が診療情報をもとにコンピュータ分析を行い、65歳以上の総合診療科を退院される方への肺炎球菌ワクチン接種率を調査します。

■ 取り扱う診療情報（データ）

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、入院中病名、既往歴
- ・ワクチン接種歴、入院中にワクチン接種したかどうか(肺炎球菌、インフルエンザ含む)
- ・退院時指示のテンプレート使用の有無
- ・転帰や退院先(自宅退院しているか、もしくは転院や施設入所しているか)

■ 情報の保護

情報は安房地域医療センター内で収集致します。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

■ 問い合わせ窓口

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年12月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

安房地域医療センター 総合診療科

職名:医師 氏名:常石 大輝

電話:0470-25-5111(代)